

株式会社ピーシー・ブレイン お問い合わせ電話番号:047-311-6677

☆今月のメニュー

■モバイルサイトの基本

- ◆ 重要性を増すモバイル
- ◆ モバイルサイトの特徴
- ◆ 活用する際の注意点
- ◆ モバイルサイトの SEO

★スマートフォン向けサイト

最近ではモバイル端末といっても、従来の携帯電話とは一線を画す、iPhone、Xperia、レグザフォンなどのような「スマートフォン」と呼ばれる端末が目立って、販売台数も伸びてきています。

携帯キャリア各社もスマートフォン向けの特別プランを用意するなど、普及を後押しするような流れもありこの先急速にシェアが伸びてくるでしょう。こうなると、従来のモバイルサイトと同様にスマートフォン対応も欠かせません。

スマートフォンでは、PCサイトをそのまま表示することができます。このため、特にスマートフォン用のサイトを用意しなくてもそのまま閲覧して利用してもらうこともできます。とは言え、タッチパネルなどの操作感に対応したスマートフォン版のホームページとして作った場合には使い勝手が一段と向上します。

スマートフォンでは Viewport と呼ばれる横幅を設定する特有の機能があります。これによって自動的なサイズ設定や、拡大縮小などの制御が可能になります。

このような機能を最大限に活用するためには、携帯とは別にスマートフォン向けのサイトとして構築する必要があります。顧客層によってはスマートフォン対応することで成果に影響するサイトもこれからは出てきそうです。



例: 右がスマートフォン用サイト



こんにちは、ピーシー・ブレインの高山です。震災で遅れていた iPad2 も発売になりました。初代 iPad とは別物という評価もあるようで、外観だけでなくやはり進化しているようですね。さて、ホームページの活用方法を中心とした「WEBマーケティングのヒント」というタイトルで、情報をお届けいたします。

モバイルサイトの基本と活用

ホームページにアクセスする端末としては、これまでは PC が中心でしたが、第3世代の携帯電話端末の普及やパケット定額制の通信料金が定着によって、モバイルからのホームページアクセスがかなり増えてきています。

今回は、モバイル向けのホームページ(モバイルサイト)について、その基本として特徴や活用してゆく上での注意点などについて説明します。

▼モバイルサイトとは

そもそもモバイルサイトと、一般のホームページ(PC サイト)との違いは何でしょうか？最近の携帯電話の端末性能や携帯電話会社の通信網の能力が上がってきているため、携帯電話からも PC サ

イトを閲覧することはできます。ただ画面の大きさやキーなどの入力方式が異なるため、使い易いとはとても言えません。

そこで、携帯電話でアクセスしたときに快適に表示・閲覧・操作ができるように最適化したホームページが提供されるようになってきました。

これが一般の PC サイトとは区別され「モバイルサイト」と呼ばれるものです。



例えば、Google の場合、モバイルサイトは次のように表示され、PC サイトは異なる内容になっています。

モバイルサイトの重要性は増してきている

さて、既に PC サイトを活用している方は多いかと思いますが、最近ではモバイルサイトを新たに構築して利用することでさらに効果を上げるところがどんどん増えてきています。

モバイルサイトの重要性が増してきている背景には次のようなものがあります。

・利用者が多い

総務省が毎年行っている「通信利用動向調査」によれば、平成22年末の時点で、インターネット利用者のうちモバイル端末からの利用者の割合は、7,878 万人(83.8%)に達している、モバイル端末からのみの利用者だけでも 744 万人(7.9%)となっています。

モバイル端末からの利用者の中には、PC を併用している人も含まれていますが、相当数の人がモバイル端末を利用してインターネットを利用している状況なのです。

・端末の特性

携帯というモバイル特有の使われ方があります。それは、屋内・机上に限定されず「どこでも使える」、ということと、すぐに反応する「即時性」です(PC とは異なりメールが端末に直接配送されるための即時にアクセスされる)。このことは PC には見られない特性で、うまく適合すれば大きな効果を期待できます。

さらに最近では携帯通信会社がパケット定額制の通信料金を提供している

こともモバイルサイトへのアクセスを増やす大きな動機付けになっています。

起動するのに時間のかかる PC を使って調べるよりも、すぐに使えるモバイル端末の方が圧倒的に便利ですからね。

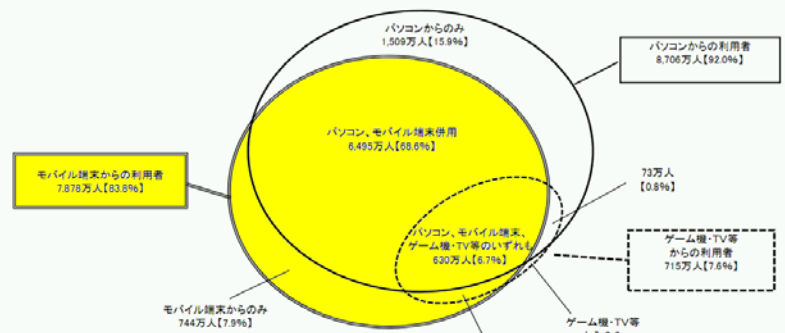
・店舗ビジネスとの相性

前述の様な特徴から、個人向けビジネス、特に店舗で対応するような営業形態では大きな力を発揮します。飲食店などがこぞクーポンなどを発行しているのは、モバイルサイトを利用することで効果的に集客できることを表しています。

・ソーシャルとの連携

Twitter や Facebook といったソーシャルネットワークサービスの普及も影響を与えています。ソーシャルネットワークサービスはモバイル端末との相性が良いのですが、その中で取り上げられる情報からサイトへ誘導されるケースも少なくないため、その際の端末はモバイルであることが多いからです。

インターネット利用端末の種類(個人)(平成22年末)



⑧⑧ モバイル端末: 携帯電話、PHS、携帯情報端末(PDA)及びタブレット型端末を指す。

株式会社ピーシー・ブレイン

〒270-2253
千葉県松戸市日暮 1-2-6
勝どきビル3F

電話番号
047-311-6677

Fax
047-311-6678

E-mail
info@pcbrain.co.jp

受付時間:
9:00～17:30

地域で一番ネットを使った商売に
詳しいコンサルティング企業

- Web マーケティングコンサル
- ネット集客支援
- ホームページ制作
- SEO リフォーム
- WEB システム開発



当社 Web サイト
URL:
http://www.pcbrain.co.jp
http://www.webquick.jp



モバイルサイトの特徴

・PC サイトとの違い

モバイルサイトが PC サイトと大きく違うのは、画面サイズと入力の制約を受けるとい点です。現在の PC サイトが 1000 ピクセル前後の横幅になっているのに対して、携帯電話では 240 ピクセル程度でスマートフォンでも 480 ピクセル程度です。

このため、レイアウトは PC サイトが横長であるのに対して縦長を基本とする必要があります。

また、入力についても 100 キー以上のキーボードを持っている PC とは異なり 12 個程度のキーを使って入力す

必要があるため、テキストをそのまま入力させるようなインターフェースでは使い勝手が良くないため入力項目を選択式にするなどの方式が取られることが多くなっています。

・モバイルサイトの利用者

モバイルサイトの利用者は、PC 向けに比べると若年層がやはり多くなります。また、PC サイトは日中に企業内(の PC)からアクセスがある程度多くなるのに比べて、モバイルサイトへのアクセスは個人端末からがほとんどのため夜間に渡って長い時間アクセスが続きます。

モバイルサイト活用の際に注意すべきポイント

・1種類ではない

PC サイトとは異なり、モバイルサイトというのは実は 1 種類ではありません。携帯キャリアごとに異なる仕様で端末を作っているためです。

それでも第3世代(と呼ばれる)以降の機種を対象とすれば、基本的には HTML ベースで作成したホームページであれば閲覧できるようになってきています。ただ、対応している画像の形式などにはキャリアごとに差があるため注意が必要です

・アクセス解析もモバイル対応に

モバイルサイトでは PC 向けのアクセス解析ツールがそのまま利用できないことがあります。例えば、Google Analytics は、モバイル向けツールが PC 用のものとは別に提供されています(PC 用では正しく集計できないだけでなく表示がおかしくなる)。また、モバイル用のアクセス解析ツールは、ページへの組み込みがややこしいことも多いので、不明な時は制作したパートナーなどに相談することも考えてください

い。

・メールフォームもモバイル対応に

お問い合わせフォームなども PC サイト用のものがそのまま利用できない場合があります。特にページ間で情報を受け渡ししているような作りだと、携帯では動作しないことが多いため、別の方式に変更する必要があります。また、確認メールが携帯キャリアの迷惑メール対策などによる受信拒否されることがあるため、その配慮や説明なども必要となってきます。

・外部サービスがモバイル対応になっているか

PC サイトでメルマガ配信やショッピングカートなどの外部のサービスを利用していた場合には、そのサービスがモバイルサイトとして利用できるかどうか確認が必要です。サービスによっては携帯からのアクセスに対しては自動的にモバイル対応になるものもありますが、PC を前提としているサービスも多いので PC サイトとは別の仕組みを利用しないといけない場合があります。

モバイルサイトの SEO

モバイルサイトの入り口としては、携帯キャリアが提供する公式サイトメニューや検索システムがありますが、PC サイト同様にモバイル用の検索エンジンもありそこでは SEO 対策が必要となります。

▼Google への登録

Google のモバイル検索エンジンへの登録には、ウェブマスターツールを利用してモバイルサイトマップ送信する必要があります。

もし、対象となるモバイルサイトが、PC サイトと同じ URL(自動的に変換されて表示される場合など)であっても、PC サイトとは別にモバイル向けのサイトマップを送信した方が良いでしょう。

【参考】モバイルサイトマップの作成(Google)
http://goo.gl/Hem5Y

▼公式サイト

モバイルサイトへのアクセスが現状で多いのはキャリアの公式サイトメニューからの流入です。この公式サイトとしての登録については、企画書の提出や内容の審査などが必要になり、手間がかかりますので、経験のあるパートナーに相談してみるのも良いでしょう。

なお、携帯キャリアが公式サイトで検索システムを提供していますが、ドコモはモバイル goo、au は EZGoogle、そしてソフトバンクは Yahoo!ケータイというようにそれぞれ異なります。さらに公式サイトには外部リンクというものが基本的には存在しないため通常のサイトとは SEO の異なった評価となるため、対策も変わったものになってきます。

ニュースレターを読んだ感想、取り上げて欲しいテーマ、相談など、ぜひご意見をお聞かせ下さい!
→ FAX:047-311-6678 / 電子メール: info@pcbrain.co.jp

株式会社ピーシー・ブレイン

発行責任者: 高山卓巳
〒270-2253 千葉県松戸市日暮 1-2-6 勝どきビル3F

TEL: 047-311-6677 FAX: 047-311-6678 Email: info@pcbrain.co.jp

